



織物、染め物グッズ楽しんで

日曜暮らしファイル vol.43 2014. 1. 26

地域に伝わる織物や染め物を、気軽に楽しみたい。身近な小物を探してみた。

柳井縞 (山口県柳井市)

縦縞の手織り物。「柳井縞の会」が通帳入れ=写真= (大2000円、小



1800円) や名刺入れ、ブックカバーなどを製作・販売。電話(0820・23・2490、

火曜日以外の午後1~5時)でパンフレットの取り寄せができる。

博多織 (福岡市)

黒田藩が幕府に献上した絹織物。

同市の鶴海織物工場が、「ハカタジャパン」のブランド名で、金封ふくさ=写真= (4200円)などを販売。市内の

「博多リバレイン」に直営店(☎092・263・1112)がある。ネット販売も。



小倉織 (北九州市)

武士のはかまなどに使われた縦縞の木綿織物。同市の「小倉クリエーション」(☎093・561・0700)が、「縞縞」のブランド



名で、折りたためるバッグ=写真= (3150円)などの小物やインテリアを販売。ネットでも購入できる。

久留米縞 (福岡県久留米地域)

地元の織元や作家が、洋服やバッグのほか、「ペットボトル入れ」=

写真= (1260円)などの小物を製作。「地場産くめ」が展示即売場や「R久留米駅店、ネットショップなどで販売。



鹿島錦 (佐賀県鹿島市)

和紙や絹糸を使った多彩な模様が特徴で、「鹿島錦保存会」が継承。印鑑ケース=写真= (5500円)やブローチなどを、市内の祐徳博物館や市観光物産センター(☎0954・62・1042)のウェブショップでも販売している。



島原木綿 (長崎県島原市)

藍色の縦縞模様が特徴。戦前は海外にも輸出された。「島原木綿保存会」が復興し、技術を継承している。「MY(マイ)箸入れ」=写真= (3000円)などを在庫分のみファクス(0957・68・3980)で注文を受ける。



天草更紗 (熊本県天草市)

南蛮船によって伝えられたとされる。染織家の中村いすずさん(57)が復興した。復元柄のポーチ=写真=

(1500円~)などを製作。問い合わせは工房「野のや」(メール



info@sarasa-nonoya.com)へ。

豊後絞り (大分市)

木綿の藍染めで、絞りの技法は100種類を超え

るといふ。同市の「安藤宏子の豊後絞り教室ぶんご遊草会」(☎097・

567・1267)が、ランチョンマット=写真= (5000円)やストールを注文に応じて製作・販売している。



薩摩縞 (宮崎県都城市)

大島紬の技法を用いた綿織物。同市の東郷織物が、ブックカバー=

写真= (1995円)などをつひとつ手作りし、直営店「NAギャラリー」(☎

0986・21・3153)で販売。ホームページにも商品の一部掲載している。



大島紬 (鹿児島県)



奄美大島が特産の伝統織物で、明治以降に本土でも織られるようになった。鹿児島市の大瀬商店(☎099・254・3275)では、アイフォンカバー=写真= (3150円)やがま口の財布などが人気。ネット販売もしている。

紅型 (沖縄県)

琉球伝統の染織品。那覇市の工房



「綾衣」が、コインケース=写真= (2100円)やバッグなどを製作、販売。柄やデザインを選べるセミオーダーにも応じている。問い合わせは福岡事務所の中村勉さん(☎090・6421・3033)へ。

首里織 (那覇市)

城下町として栄えた首里で王族や貴族用に織られた。織り手が髪ゴム=写真= (500~700円)



や化粧ポーチなども製作。那覇伝統織物事業協同組合(☎098・887・2746)が、着払いで電話注文に応じている。